

治験審査委員会審議の概要

第 183 回 心臓血管研究所付属病院治験審査委員会

開催日時	2014 年 9 月 25 日 (木) 17:40 ~ 18:10
開催場所	心臓血管研究所付属病院 5 階ミーティングルーム
出席委員	桐ヶ谷 肇、板橋 清、齊藤 隆之、相良 耕一、永島 和幸、加藤 祐子、古根 慶子、松本 亨、室伏 由紀子、石川 宏幸、生月 美和
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p><b>議題①</b>ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社の依頼による SM-01 臨床試験 治験の終了報告を行った。</p> <p><b>議題②</b>ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社の依頼による EVOLVE II : 動脈硬化性病変治療における BSJ001S の安全性及び有効性を評価する前向き多施設試験 他施設で発生した海外からの安全性報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p><b>議題③</b>株式会社カネカの依頼によるネイティブ冠動脈病変に対する KCS03 冠動脈ステントの有効性・安全性を評価する臨床試験 治験の終了報告を行った。</p> <p><b>議題④</b>アボット バスキュラー ジャパン株式会社の依頼による虚血性心疾患被験者に対する AVJ-301 と金属製薬剤溶出型ステントとの比較臨床試験 他施設で発生した海外からの安全性報告に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p><b>議題⑤</b>バイエル薬品株式会社の依頼による左室駆出率が低下した増悪する心不全を対象に、sGC 刺激薬 BAY1021189 を 4 つの用法・用量により 12 週間経口投与した際の薬力学的作用、安全性、忍容性及び薬物動態を探索的に評価する無作為化、並行群間、プラセボ対照、二重盲検、多施設共同、第 II 相用量設定試験 治験実施計画書および同意説明文書の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p> <p><b>議題⑥</b>バイエル薬品株式会社の依頼による左室駆出率が保持された増悪する心不全を対象に、sGC 刺激薬 BAY1021189 を 4 つの用法・用量により 12 週間経口投与した際の薬力学的作用、安全性、忍容性及び薬物動態を探索的に評価する無作為化、並行群間、プラセボ対照、二重盲検、多施設共同、第 II 相用量設定試験 治験実施計画書および同意説明文書の変更に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果：承認</p>
備考	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HARMONEE 臨床試験 (オーバスネイチ・メディカル) ： 治験実施計画書 別紙 2 第 3 版、第 4 版の変更</li> <li>・ AVJ-301 臨床試験 (アボットバスキュラージャパン) ： 治験実施計画書 別紙 2、3、4 の変更</li> <li>・ 下記試験に CRC1 名が追加された。 TCD-10023 (小口血管) 試験、HARMONEE 試験</li> </ul>